

東南アジアのことば が奏でる詩

タイとベトナムの表現世界

11月13日（木）

東京外国語大学
総合文化研究所会議室

16：00～17：30（5限）

（研究講義棟 422 教室）

登壇者

コースイット・テイツプティエンポン
野平宗弘

使用言語：日本語

参加費無料、予約不要

言葉は音として生まれ、音は人の心を揺り動かす。
その魅力は、古来より人々の精神を潤してきました。
東南アジアでは声とリズムの中に感情や知恵、美意識を
託してきた詩の伝統が息づいています。
本対話では、ベトナムとタイの詩に焦点を当て、
古典詩から現代詩までを辿りながら、「音」がどのように意味を
紡ぎ、社会や時代の変化を映し出してきたのかを考えます。
旋律のように響くことばの美しさ、
そしてその奥に潜む文化的文脈と表現の豊かさを、
両地域の詩人たちのことばを通して味わう時間となるでしょう。